

コープで
広がる、
つながる

食べることに困っている方々と、日本の米づくりを支えるために お米を合計200トンお届けします

コープみらいは社会貢献の取り組みとして、1年間を通して継続的に、合計200トン（5kgで4万袋）のお米を、地域のフードバンクをはじめ、生活困窮者への食料支援などを行っている団体へ寄贈します。

困っている方々へ お米を届けます

コープみらいでは、2021年度、組合員の皆さんにたくさんのご利用をいただいたことから、予算を超える剰余金を確保できました。そこで2022年3月より1年間を通して継続的に、合計200トン（5kgで4万袋）のお米を、地域のフードバンクをはじめ、生活困窮者への食料支援などを行っている団体へ寄贈します。

今後も支援を行います

寄贈先の一つである特定非営利活動法人フードバンク埼玉の理事・永田信雄さんより「1年間を通じてお米を寄付していただけたということ、大変心強く思っています。生活困窮者の皆さんや1人親家庭など支援先がたくさんあります。コープみらいさんはフードバ

ンク埼玉立ち上げのときから一緒になって推進してくださっています。今回のお米の寄付でさらに地域のために活動ができます」と感謝の言葉をいただきました。新井理事長からは「生活に困っている方へ手を差し伸べ、支援を行き届かせるには、フードバンクをはじめとした地域に根差して活動するパートナーが必要です。コープみらいは助け合いの組織として、こうした地域の活動に積極的に関わり、連携していきたい」とお伝えしました。

コープみらいでは今後も継続して生活困窮者の支援を続けるとともに、日本の米づくりを応援します。



写真右) コープデリ久喜センター（埼玉県）で行われた寄贈式。コープみらいの新井ちとせ理事長（左）がフードバンク埼玉の永田信雄理事（右）に寄贈しました
写真左上) 元八王子センター（東京都）でのフードバンク八王子えがおへの贈呈の様子
写真左下) 千葉県内の寄贈式では、八街市社会福祉協議会 石毛勝会長（写真左）へ、コープみらい 永井伸二郎副理事長（右）から寄贈しました（中央は、八街市 北村新司市長）



「第4回フードパントリーやちまた」で、お米をお渡ししている様子